

地域の医療と社会保障を構想する

～信州のみなさんの創造に期待～

現在、医療費削減で制度攻撃が強まるなか、地域の病院・医療機関の経営難、存続が深刻な事態に直面しています。誰もが安心して医療にかかれる地域づくりのための共同が求められます。



講師の長友先生は、医療の提供体制の問題で運動をつくるには、各地で医療にかかれない実態が広がっていることを、もっと把握して、広く知らせることが課題だと指摘します。また日常から地域の医療をどうするか、住民のなかで考える取り組みが重要であり、地域づくりの一環として医療を位置づけていくことが大事だとも述べられています。

2006年、地域医療機関の精神科の撤退を機に発足した秋田県の住民団体「鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会」の活動にも加わられています。長野県の医療と社会保障を私たちの手で構想するため、長友先生の講演に学び、考え合ひましょう。

講師 佛教大学社会福祉学部 准教授 **長友 薫輝**（ながとも・まさてる）氏

【講師プロフィール】2022年より現職。専門は社会保障論、地域医療論、地域福祉論。日本医療総合研究所副理事長、自治体問題研究所理事、総合社会福祉研究所理事などを務めている。著書に『全世代型社会保障改革とは何か―国民健康保険と医療政策のゆくえ―』（自治体研究社、2025年）など多数。

日時 2026年 **2月28日（土）** 13:30～15:30

会場 **長野県高校教育会館**

（長野市県町 593）別館 2 階 オンライン併用（登録制）

●Zoom オンライン配信の
登録はこちら⇒



●URL 入力による登録
「<https://x.gd/pPqGQ>」



駐車は①の合同庁舎駐車場へお願いします

【主 催】長野県社会保障推進協議会

〒380-0838 長野市県町 593 長野県高校教育会館3階 電話 026-219-6314

E-mail naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp